

清友

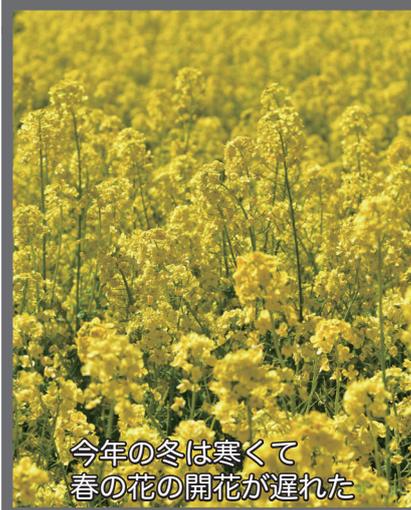
No. 151

2022年3月
(2022年3月8日発行)

東京清掃労働組合退職者会

〒102-0072 千代田区飯田橋3-9-3 SKプラザ5F

TEL 03 (3237) 9995 FAX 03 (3237) 4541



今年の冬は寒くて
春の花の開花が遅れた



ロシアはウクライナ侵略をやめろ！ アベと維新の「核共有」策動糾弾！

ロシアによる2月24日のウクライナ侵略開始から約2週間、ウクライナ各地で戦闘が行われ、民間人に多数の死傷者が出ています。しかも、あるうことが原発を攻撃し占拠しました。

プーチンは、「集団的自衛のための進出」と強弁しています。ナチスの侵略も日本の中国侵略も「自衛」を大義名分としました。戦争は、いつも「自衛」の名のもとに始まります。

プーチンは、「集団的自衛のための進出」と強弁しています。ナチスの侵略も日本の中国侵略も「自衛」を大義名分としました。戦争は、いつも「自衛」の名のもとに始まります。



小田原でも頑張ってるよ！
(佐々木則子さんより)

プーチンは、国内の反戦デモを弾圧し言論統制を強め、世界的な「戦争ヤメロ」の声を無視、核兵器の使用すらほめかしています。

世界各地で戦争反対の声

国連総会でロシア非難決議が採択され、世界各地でロシア侵略非難の大規模な行動が起こっています。日本でも各地で連日様々な行動が行われ、メッセー



発言する東京清掃
高野青年部長と
高本前青年部長

3・15 「学習交流会」は開催します
3・29 「お花見」は残念ながら中止

コロナの感染状況はピークアウトを迎えたとみられるものの、高止まりの傾向を示しています。首都圏の「まん延防止」措置も3月21日まで延長されました。高齢者のリスクは引き続き警戒を要すると指摘されています。

原発をめぐる状況を考慮し「学習交流会」を開催

このような状況で、3月15日の「学習交流会」を開催すべきか、非常に悩みました。

しかし、ロシアによるウクライナの原発占拠など、原発をめぐる緊迫した事態を前に、極めてタイムリーなお話しに接する機会を逃すべきではないと考えました。



主要なテーマは「福島の状態と処理水海洋放出の問題点」ですが、ウクライナの原発をめぐる状況についてもふれていた

だくことにします。

ただし、コロナの状況を考慮し、懇親会は行いません。

参加申込みは、前日までに連絡いただければ結構です。

小金井公園は「自粛」対象 お花見は実施不可です

3月29日に「お花見（桜満開の小金井公園散策と車座で一杯）」を開催する予定で準備してききましたが、東京都は、3月4日に決めたまん延防止措置延長の内容の中で、「都立公園での宴会自粛」を要請するとしています。



これにより、小金井公園ではお花見を行えないことになりました。方角が悪いのか、企画者の行いが悪いのか、3年連続の中止です。返すがえすも残念です。

4月以降の行事も検討中 夏季を除き毎月お楽しみ会

4月以降の行事も企画しています。5月中旬に芝の丸山

古墳（東照宮）もみじ谷（増上寺などをめぐる「港区芝・大門フィールドワーク」を予定しています。4月の定例連絡で案内を差し上げます。

また、6月10日には第14回定期総会を開催することになりました。3年ぶりの対面開催になります。懇親会ができることを期待しています。

定期総会後は、夏休みです。猛暑に堪えて秋を迎えたら、「秋の学習交流会」「秋のフィールドワーク」「日帰り親睦旅行」などの企画が目白押しです。秋にはコロナも……？



芝・増上寺本堂

健康相談の活用で健康寿命の維持を

体調不安や医療に対する疑問をお持ちの方が、健康や医療に関する相談を気軽にできるように、東京清掃は毎月一回健康相談を行っています。対応する方は東京清掃顧問医の平野先生（亀戸ひまわり診療所理事長）、相談料はもちろん無料、毎月第4水曜日午後4時からです。

退職者会の会員は、この健康相談を活用することができます。今月は3月23日です。

申込みは、退職者会の戸枝事務局長宛 090-8681-8221 連絡してください。

今年も残念ながら「歓送会」中止

東京清掃は、今年も「歓送会」を中止することになりました。例年、参加者は少ないものの、会員拡大に直結していただけに、残念です。



東京清掃賃金確定継続協議

定年延長に係る60歳以上の賃金水準の引出し妥結

「年齢による昇給抑制見直し」
 昨年の賃金確定闘争で、「定年延長に係る60歳以上の賃金水準」は「継続協議事項」になっていました。当局提案の「60歳前の7割」では、現業職のほとんどが「再任用の月例給を下回る」からです。

「定年延長に係る60歳以上の賃金水準」は「継続協議事項」になっていました。当局提案の「60歳前の7割」では、現業職のほとんどが「再任用の月例給を下回る」からです。

【各区分の賃金水準】
 2021年度 2022年度 2023年度 2024年度 2025年度 2026年度 2027年度 2028年度 2029年度 2030年度 2031年度 2032年度



東京清掃賃金確定 1.24 学習決起集会
 多田書記長による制度説明
 (※写真は東京清掃提供)

【区長会は法律と年収ベースなどをタテに要求に答えず】
 東京清掃は、国の現業職が63歳定年であること、都には調整額が措置されていること

【現業職のみ対象の改善提案】
 本部四役が入ったの各区要請行動等の闘いを背景に、粘り強い交渉の結果、2月7日、「現業職の昇給抑制年齢を55歳から57歳に引き上げる（経過措置の号給調整あり）」等の最終提案が示されました。

【極めて不満な内容だが、岩盤に傷をつけられた】
 この措置によってもなお半数以上の組合員が再任用賃金を下回るという不満な内容ですが、①労組の要求に応じて区長会側が現業職のみ制度改善、定年延長に係る賃金水準協議で何らかの措置を勝ち取ったのは特別区のみであること、②現業賃金のあり方に

【賃金水準改善へ、来年も闘いは続く】
 この発端は、賃金確定で現業賃金水準が約9%削減され、行政職に比べて著しく低賃金になっていること。根本的には現業賃金水準を引き上げなければ解決しません。東京清掃の闘いは来年も続くこととなります。

【賃金水準改善へ、来年も闘いは続く】
 07

【賃金水準改善へ、来年も闘いは続く】
 07

●昇給抑制の引上げイメージ図 (東京清掃作成)

	2021年度	2022年度		2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度	2032年度
1963年度生まれ	58歳 昇給抑制	59歳 昇給抑制	定年延長制度導入	60歳 8号昇給	61歳 7割水準	▶ 暫定再任用							
1964年度生まれ	57歳 昇給抑制	58歳 昇給抑制		59歳 8号昇給	60歳 昇給抑制	61歳 7割水準	62歳 7割水準	▶ 暫定再任用					
1965年度生まれ	56歳 昇給抑制	57歳 昇給抑制		58歳 8号昇給	59歳 昇給抑制	60歳 昇給抑制	61歳 7割水準	62歳 7割水準	63歳 7割水準	▶ 暫定再任用			
1966年度生まれ	55歳 4号昇給	56歳 昇給抑制		57歳 8号昇給	58歳 昇給抑制	59歳 昇給抑制	60歳 昇給抑制	61歳 7割水準	62歳 7割水準	63歳 7割水準	64歳 7割水準	▶ 暫定再任用	
1967年度生まれ以降	54歳 4号昇給	55歳 4号昇給		56歳 4号昇給	57歳 4号昇給	58歳 昇給抑制	59歳 昇給抑制	60歳 昇給抑制	61歳 7割水準	62歳 7割水準	63歳 7割水準	64歳 7割水準	65歳 7割水準

JAL争議の早期全面解決を!

「JAL争議の全面解決をめざす東京集会」が、2月16日文京区民センターで開かれしました。参加者が会場を埋め尽くす「密」な集会でした。

解決の遅れは会社に責任

10年12月31日、パイロット、客室乗務員165名が不当解雇されました。ILOが4度も「解決すべき」と勧告しているように、実態的に国家的不当労働行為です。その後、2代の

社長が「私の代で解決したい」、「できるだけ早く解決したい」と発言していますが、一向に進展していません。

闘いなしに展望は開けず

昨年4月、定年で組合員資格を失ったパイロット3名がJAL被解雇者労働組合（JHU、現在は22名）を結成し、会社側や国交省の団交拒否に抗し都労委闘争を開始しました。集会で特別講演をした指宿

弁護士は、「国鉄闘争と共通点が多い。『闘う闘争団』は闘って勝利解決した。何もしなければ負ける、闘って展望を開けば前進がある。」と、JHUの決起を支持・評価しました。

早期全面解決へ闘争強化を

集会で、「不当行為を謝罪しないJALに公共交通を担う権利はない」と断罪、「労働者の権利と空の安全のために闘う」ことが宣言され、全面早期解決へ向けて、争議団と支援が一体になって大衆的闘いを強化することを確認しました。



衆院の予算審議と並行して「憲法審査会」が強行開催されている状況のもと、2月の「19日行動」が国会前で開催され、改憲発議反対! 敵基地攻撃能力保有反対! などが訴えられました。

市民からの発言で、「総がかり青年プロジェクトチーム（青年PT）」の高木陽介さん（東京清掃前青年部長、現品川区選出中執）は、「青年PTを昨年立ち上げ、若者中心に街宣や署名活動を行っている。諸先輩の運動を継承し、平和のために、全力で闘う」とアピールしました。ガンバレ!



2月18日、けんり春闘による経団連前抗議行動が取組まれました。コロナ禍による格差と貧困拡大の責任の一端は経団連にあると、抗議を集中させ、最賃時給1500円、8時間働けば暮らせる社会の実現へ、経団連は責任を果たせとアピールしました。

連帯挨拶のトップは東京清掃江森委員長、「コロナ禍で必死に働くエッセンシャルワーカーに対する処遇は不十分、立場の弱い非正規労働者の生活と権利を補償するため、大企業は内部留保を吐き出せ」などと訴えました。

東京清掃前青年部長 高木陽介さん

東京清掃 江森委員長